



2023年5月15日

各 位

上場会社名 常 磐 興 産 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 西 澤 順 一
コ ー ド 番 号 9 6 7 5 (東 証 ス タ ン ダ ー ド)
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 部 担 当 藁 谷 哲 也
電 話 番 号 0 2 4 6 - 4 3 - 0 5 6 9

経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において「経営計画2023」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 「経営計画2023」の位置づけ

計画期間において、継続的に収益を確保するとともに、財務体質の強化を進めるなど、将来の飛躍に向け、業務基盤の再構築を図ります。

なお、環境変化に柔軟に対応していくため、当面、経営計画は2年サイクルで策定いたします。

2. 「経営計画2023」のポイント

以下により「財務基盤の強化」と「企業価値の向上」に取り組んでまいります。

- (1) 新しい体験価値の提供によるお客様満足の上昇
- (2) コストコントロールの強化による収益体質の改善
- (3) 地域貢献、SDGsへの取り組み強化

※詳細は別添資料をご参照ください。

以上

経営計画 2023

2023年5月15日
常磐興産 株式会社

1. 経営計画策定にあたって ～はじめに～

2020年初頭より3年以上に亘った新型コロナウイルス感染症のまん延は、経済活動に大きな影響をもたらしました。とりわけ、当社の主たる生業である観光業は、極めて大きなダメージを受けることとなりました。

この間当社は、従業員の多能化の推進、東京本社の廃止などにより、筋肉質な業務体制への転換を図りつつ、グランピングの開業やアグリ分野への参入など、ポストコロナを見据えた事業展開を進めてまいりました。

2022年度に入りコロナによる行動規制が緩和され、お客様も徐々に戻ってこられる中で、このような構造改革の効果もあり、2022年度決算では黒字転換を果たすことが出来ました。

コロナ禍を通じて改めて強く感じたことは「リアルな体験を提供することのたいせつさ」であり、歴史のあるユニークなハワイアンズというこの施設を、将来にわたって皆さまに楽しんでいただくこと、そのことが我々の使命であると再認識した次第です。

ポストコロナのスタートラインに立った今、茲に「経営計画2023」を策定いたしました。2026年1月のハワイアンズ開設60周年に向けて更なる成長を遂げ、みなさまのご期待に応えていきたいと思っております。

代表取締役社長 西澤 順一

1. 経営計画策定にあたって ～環境認識～

国内

- ✓ 少子高齢化・人口減少
- ✓ 物価上昇圧力の高まり
- ✓ 生産性向上・DX
- ✓ 働き方の多様化
- ✓ 金融政策の変更

世界

- ✓ 環境課題への対応
(脱炭素・循環型社会
への移行/SDGs)
- ✓ エネルギー問題
(地政学的問題)
- ✓ サプライチェーンの
見直し

コロナ

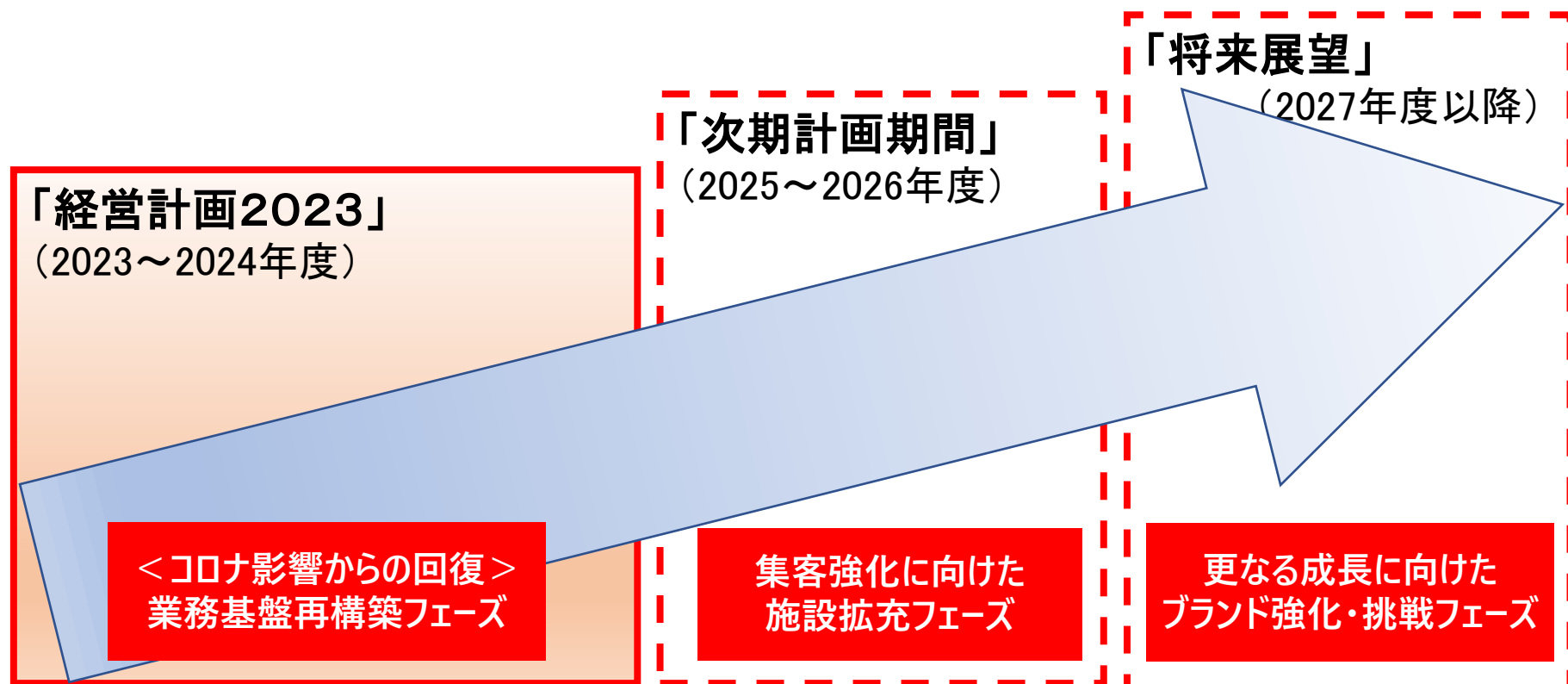
- ✓ 健康・安心・安全への
ニーズの高まり
- ✓ リモートへの移行
(テレワーク、非接触)
- ✓ 消費者心理の変容
- ✓ インバウンドの回復

- この転換期をとらえて、これまでの改善に向けた歩みを更に推し進め、収益性を高める。
- 環境変化に柔軟に対応するため、当面、経営計画は2年サイクルで策定する。

1. 経営計画策定にあたって ～本計画の位置づけ～

「経営計画 2023」の位置づけ

コロナ影響による赤字から脱却し、黒字化を果たした2022年度を転換期として、この計画期間において、継続的に収益を確保するとともに、財務体質の強化を進めるなど、将来の飛躍に向け、業務基盤の再構築を図る。

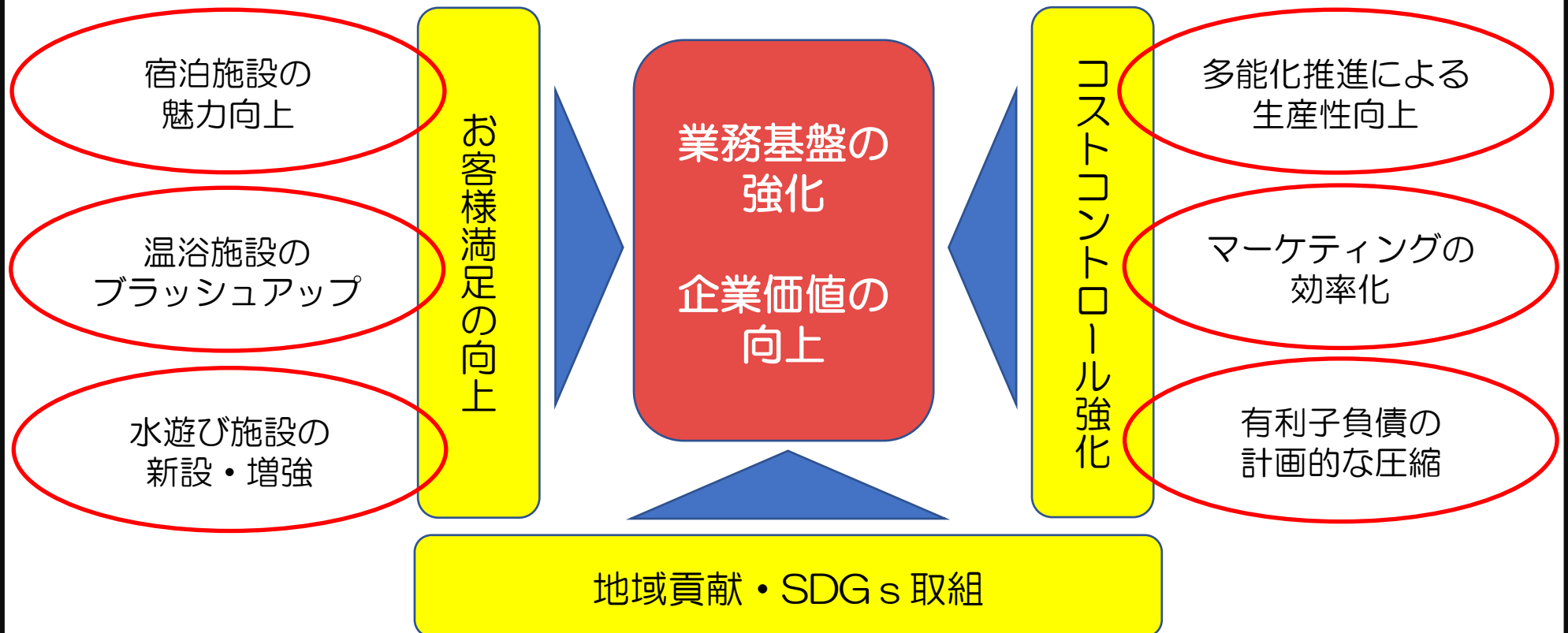


(※) 各計画期間は2年程度を想定、環境変化に合わせ、適時見直しを実施する予定

2. 「経営計画2023」のポイント

「経営計画 2023」のポイント

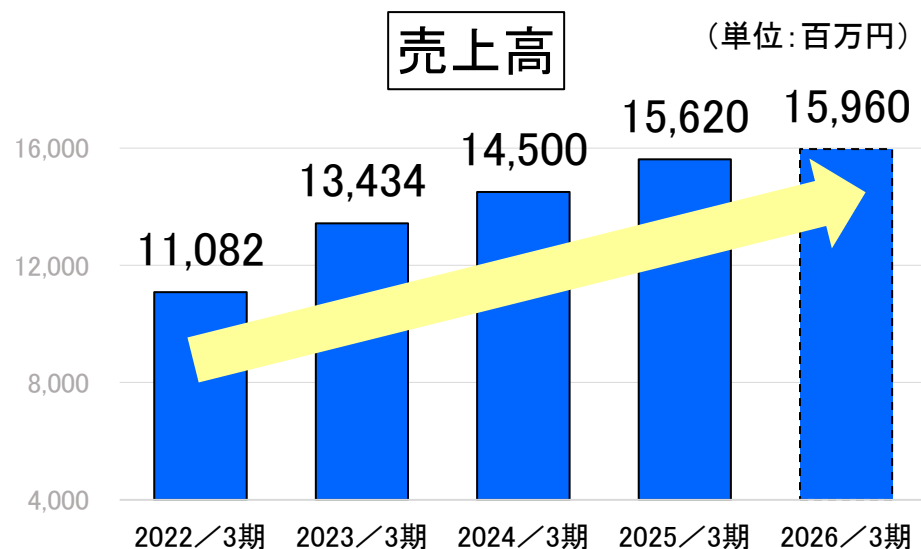
1. 新しい体験価値の提供によるお客様満足の上
2. コストコントロールの強化による収益体質の改善
3. 地域貢献、SDGs への取り組み強化



3. 取組内容と計画 ①パーク・ホテルの魅力アップによるお客様満足の上

3大商品（水遊び・温泉・ショー）の商品力強化と宿泊施設の魅力向上

- 『マス』マーケティングから『セグメント』マーケティングへ転換
 - ①客層別コンテンツの充実
 - ②ホームページの視認性・操作性の改善
 - ③Web予約の視認性・操作性の改善、日帰り施設Web予約導入
- 投資効果を重視した計画的な施設増強と改修
- 入場料金改定（“変動料金制”の導入）



客層別コンテンツ例（ファミリー向け）



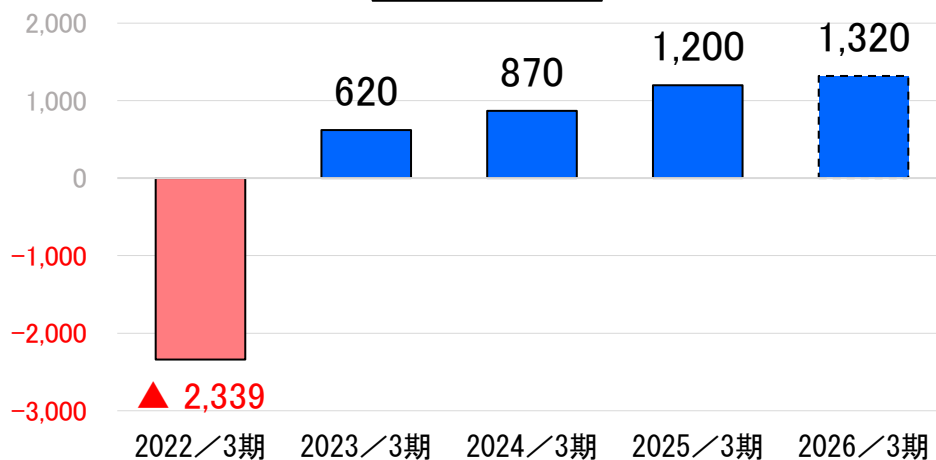
3. 取組内容と計画 ②コスト適正化による利益率改善と財務体質強化

生産性向上・コストコントロールの精緻化による収益力強化

- 社員の多能化推進による生産性の向上とサービス対応力アップ
- 媒体別費用の見直しによる広告宣伝費の適正化
- 有利子負債の計画的な圧縮（2026年3月期にコロナ前水準まで削減）

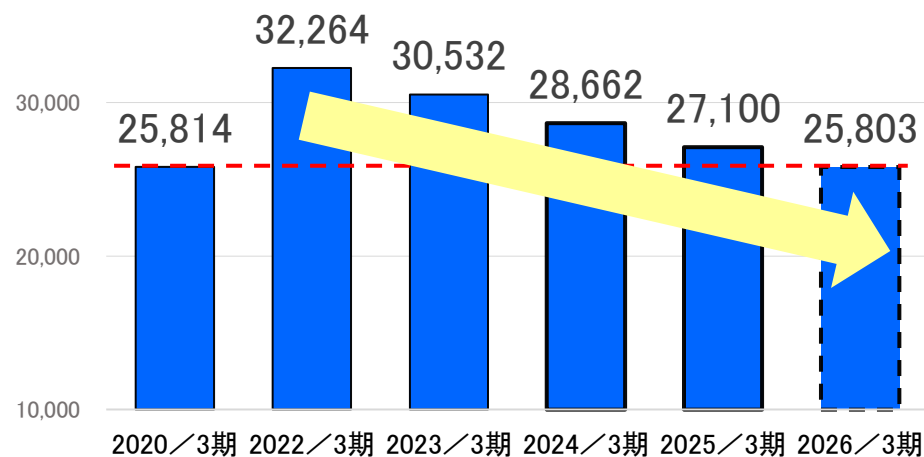
営業利益

(単位:百万円)



有利子負債

(単位:百万円)



[営業利益率 (実績・計画)]

2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
4.6%	6.0%	7.7%	8.3%

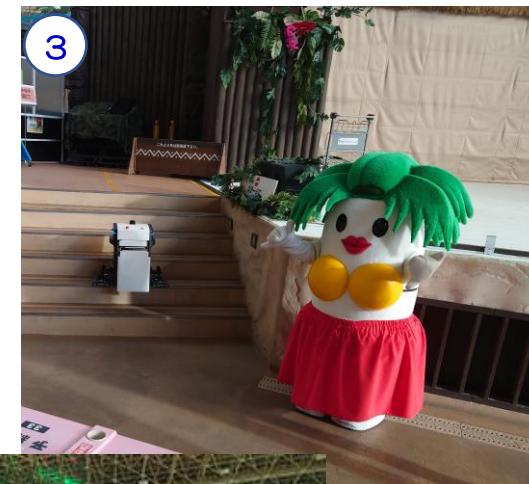
3. 取組内容と計画 ③CSR（地域貢献）、SDG s

いわき・浜通りのゲートウェイとしてのハワイアンズ

- ・ハワイアンズの知名度と集客力により、地元企業・団体の活動を支援
- ・SDG s 取り組み継続



- ①福島イノベーション・コースト構想推進機構との連携協定締結
- ②株式会社いわきスポーツクラブ（いわきFC）との包括連携協定締結
- ③自走式階段昇降掃除ロボット実証実験
- ④受動喫煙防止
イエローグリーンライトアップ



4. 業績計画（数値目標）

業績計画 （連結ベース）

（単位：百万円）

	2023/3月期 （実績）	2024/3月期 （計画）	2025/3月期 （計画）	2026/3月期 （計画）
売上高（連結修正後）	13,434	14,500	15,620	15,960
常磐興産（観光）	9,177	10,458	11,366	11,664
常磐興産（燃料商事）	864	425	271	271
常磐製作所	1,449	1,543	1,582	1,623
常磐港運	1,847	1,849	1,988	1,992
北茨城ファーム	95	300	338	337
営業利益	620	870	1,200	1,320
EBITDA	2,098	2,328	2,687	2,829
経常利益	683	610	970	1,070
当期純利益	645	500	800	870
有利子負債	30,532	28,662	27,100	25,803

集客計画 （観光事業）

（単位：千人）

	2023/3月期 （実績）	2024/3月期 （計画）	2025/3月期 （計画）	2026/3月期 （計画）
日帰り	747	792	859	898
宿泊	312	345	360	361



新しいショーのタイトルは「虹 ~Mana' o Aloha~」

ハワイには「No Rain, No Rainbow」ということわざがあります。
「雨が降らなければ虹は出ない、苦しいことのあとには良いことが訪れる」
という意味です。

鮮やかな虹を懸け、観る人に「明るい未来」を感じていただけるような、
ステージをお届けします。

【注意事項】

本資料は、常磐興産グループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は、発表日現在において入手可能な情報等に基づいて、当社が行った予測等により記載されており、将来に関する記述は、今後の様々な環境変化により大きく変動する可能性があります。